

---

# **俺と妖靈と召喚獣(仮)**

ナサニエル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺と妖霊と召喚獣（仮）

### 【Zコード】

N3927Q

### 【作者名】

ナサニエル

### 【あらすじ】

ちょっとした予告。<バカとテストと召喚獣>の一次創作。

(前書き)

何となく書いてみた。

部屋の空気がすーっと冷たくなった。カーテンが凍りつき、天井の照明に厚い氷の膜が張り、

白熱していた電球も輝きを失った。あたり一面に芯を切つたろうそくが浮かび上がって、

毒きのこの大群のよう見える。暗くなつた部屋には、むせ返るよつた硫黄の煙がたけこめ、

ぼんやりとした黒い影が身もだえして暴れだした。

遠くで無数の叫び声が聞こえる。と、とつぜん、階段に通じるドアに大きな力がかかった。

ドア板が内側にたわみ、きしんだ音をたてる。

田に見えない何かが近づいてくる足音。ぶつぶつ文句をこつこつも、ベッドの後ろや机の下のほうから聞こえてくる。

硫黄の煙が帯の形をとりはじめた。そこから巻きひげのような煙が何本も出たかと思うと、

下のように空気をひとなめしてひつひつした。煙の帯は 五線星の  
魔円 タクル の上をただよい、

噴火した火山の煙のように、天井に向かって昇っていく。

そしてその動きが止まつた瞬間、煙の真ん中からギョロッとした  
黄色い一つの目が顕れた……。

少年が好奇心により呼び出したのは妖靈。

「め、命令を……ぐ、ぐだす。な、名を……な、名乗れ」

「バーティミアス」

中級レベルの魔神<sup>ジン</sup>。

「もう一度聞く。おまえはその昔、魔術師に呼ばれプラハの壁を修復したあのバーティミアスか？」

「俺はバーティミアス！ジン族のサカル、つわものヌゴーソにして

銀の翼を持つ蛇だ！

最古の都市シュメールのウルクの城壁も、カルナックの神殿の壁も、プラハの壁も立て直した。

ソロモン王と喋った事だってある。平原に棲むバッファローの祖先と競争した事もな。

古代ジンバブエの盛衰も見守った。最後には石壁が倒れて、

犠牲になつた人間をジャッカルが貪り食つたが、それも見守つた。

そのバーティニアスだ！

どうやら一人前の魔術師はいないようだな。さてと……小僧、今度はお前が答える番だ。

俺を呼んだお前こそ誰だ？

「本来は答えると黙田らしいがあえて答えるよ。僕の名前は桐咲朱雀」

「！？……何故答えた？」

その少年と呼び出されたバーティニアスがつむぐ物語。

# 俺と妖靈と召喚獣始まります。 ジン

「行くよ！ レカイト！！」

「その名前で俺を呼ぶんじゃねえーー！」

(後書き)

本編を読んでみたいと思った方は感想にて。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3927q/>

俺と妖霊と召喚獣(仮)

2011年1月28日05時47分発行